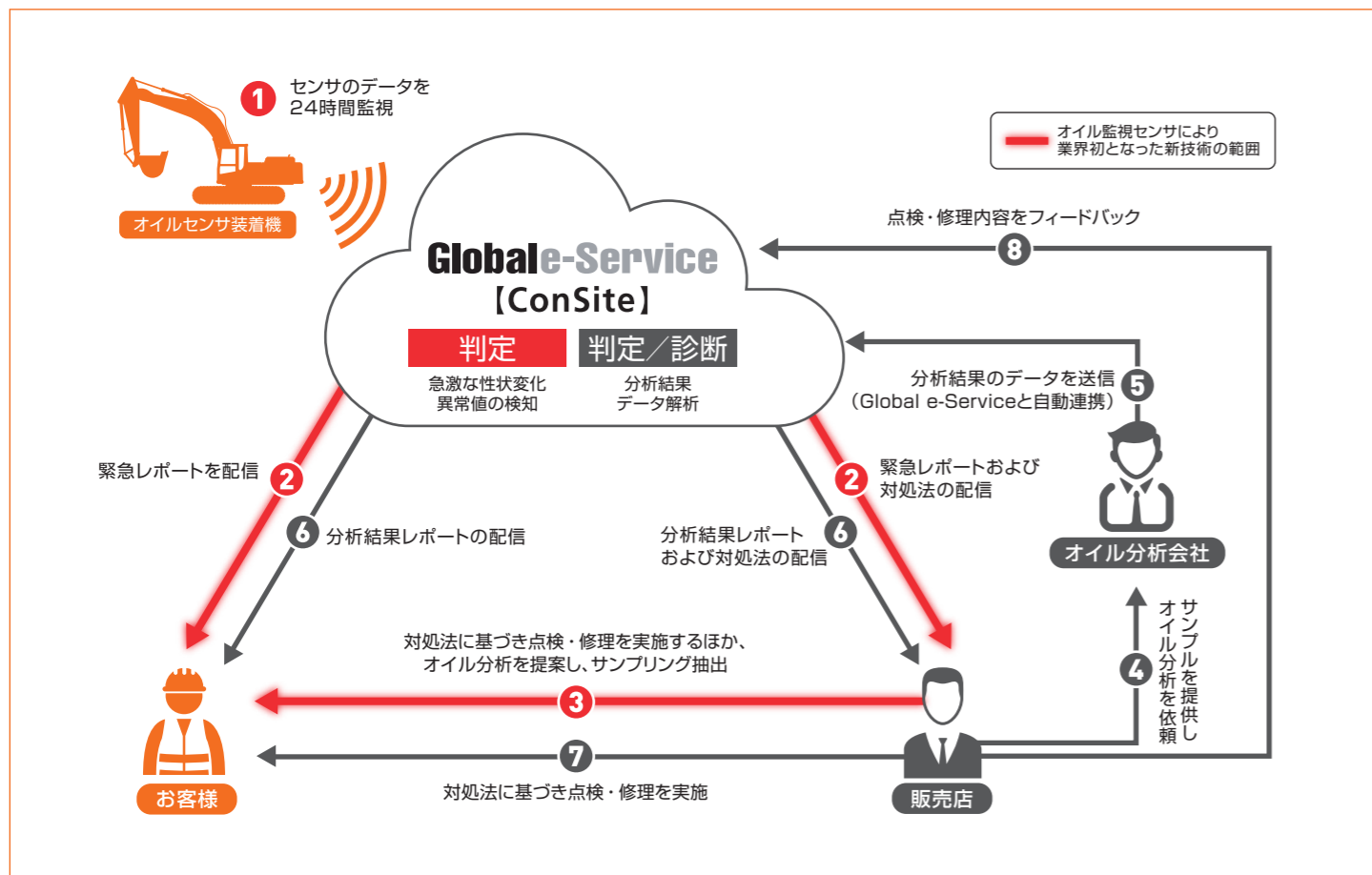


# ConSite OIL

オイル監視センサ



- 機械に装着されたオイル監視センサが24時間監視し(稼働時のみ)①、急激な変化など異常値を検知した場合は、Global e-Serviceでの判定・診断後に緊急レポートをお客様に、さらに販売店には緊急レポートと対処法が自動配信されます②。
- サービス員は対処法に基づいた点検・修理を実施するほか、必要に応じてオイルのサンプルを抽出③。
- 抽出されたオイルは提携する専門の分析会社に送られ④、分析後、結果がデータ送信されます⑤。
- その結果データは自動的に判定/診断され、分析結果や対応内容などのオイル分析レポートがお客様と販売店に当日配信されます⑥。(但し、20時を過ぎた場合は、翌日の配信となります。)
- サービス員は分析レポートとともに配信された対処法をもとに機械の点検・修理を実施⑦。さらに、点検実施の対応結果はサービス員がGlobal e-Serviceにフィードバックし、より深化した情報として蓄積されます⑧。

●掲載内容は、2018年4月1日現在のものです。掲載した内容は、予告なく変更することがあります。  
●「ConSite」は、日立建機(株)の登録商標です。

## 日立建機株式会社

東京都台東区東上野 2-16-1 〒110-0015  
営業本部 ☎(03)5826-8150  
www.hitachicm.com/global/jp

## 日立建機日本株式会社

埼玉県草加市弁天 5-33-25 〒340-0004  
営業本部 ☎(048)935-2111  
japan.hitachi-kenki.co.jp



お近くの販売店および  
教習所を検索できます。



正しい操作と、周囲への思いやりは、安全作業の第一歩です。  
ご使用前に、必ず「取扱説明書」をよく読み、正しくお使いください。

お問い合わせは、お近くの日立建機販売店へ



OIL CONDITION MONITORING SYSTEM

予防保全と機械寿命の延長へ

# 世界初\*オイル監視センサによる24時間\*\*監視ソリューション 〈日立建機のオイル監視センサ〉

\*2018年4月現在、油圧ショベルに関するオイル監視ソリューションについて。当社調べ  
\*\*エンジンおよび油圧機器のオイル状態を、24時間（稼働時のみ）データ収集し、定期的に配信するシステム

油圧システムの血液ともいえるオイル。

エンジンおよび油圧機器に装着したオイル監視センサで

稼働中の機械のオイル状態を監視。

オイルの異常を検知することで、

予防保全と機械寿命の延長に貢献します。



## ConSite OILの機能

判断しづらかったオイルの状態を、センサにより機械毎に検知

エンジン・油圧機器のセンサで  
2種類のオイルを監視

エンジンオイル  
作動油

オイルの劣化・汚染が検知され  
ると、翌日のレポートで通知



オイル交換のタイミングの確認  
のほか、異常値に基づく予防保  
全対応をスムーズに実施

オイル状態の  
急激な変化の検知

保証期間終了後も、稼働中毎日、  
廃車まで監視を継続

ライフサイクル  
コスト低減に貢献

## ConSite OILが監視するオイルの状態

オイル監視センサが監視する4つの指標データをもとに、  
オイルの劣化や汚染を自動診断。

温度 動粘度 密度 誘電率

オイル監視センサが  
自動診断

酸化(劣化) 動粘度異常(劣化) 水分混入(汚染) すず混入(汚染) 燃料混入(汚染) etc...

### ケーススタディ

## ConSite OILのレポートサービス

ConSiteデータレポートを登録いただいたユーザー様は、追加での  
設定なしでConSite OILのオイル監視センサアラームレポート  
を受け取ることが可能です。  
オイルサンプル分析実施時には、自動診断レポートも受取可能です。

### 稼働状況の可視化

定期レポート  
アラーム(緊急)レポート  
提案レポート



### オイル性状の可視化

オイル監視センサアラームレポート  
自動診断レポート  
※オイルサンプル分析時のみ

### オイル監視センサアラーム レポート内容

- メンテナンス時期のお知らせ
- 消耗品交換時期の把握
- 部品交換時期の把握
- 予防保全
- 不具合・修理対応

### オイルサンプル分析 自動診断レポート



## ConSite OIL導入のメリット

### 1 オイル状態の急激な変化の検知

〈ケーススタディ〉

エンジンオイルに急激に水分が混入した場合



・いつも通りに機械を稼働。  
・機械の小さな変化に気づきにくい。



・定期点検時や、稼働時に  
機械の不調が発覚。  
・お客様が販売店へ連絡。



・販売店が現場を訪問。  
・実機の点検やオイル  
サンプリングを実施。  
・不具合の原因を特定。



・修理を実施。

オイル監視センサなし

約2～5日

約4～6日\*1

オイル監視センサあり

修理完了まで約2日\*1



・オイル監視センサが、水混入量の急激な増加を検知。  
・機械に異常が発生している可能性あり。



センサアラームの内容は  
翌日朝にメールでお知らせ!



・センサアラームから推定される不具合要因を特定。  
・サービス員がすぐに現場対応。

### Point 1

ConSiteのアラームレポートサービスで  
機械の異常を翌日朝にお知らせ!

### Point 2

原因特定～修理までのステップが減り、  
対応スピードがアップ!

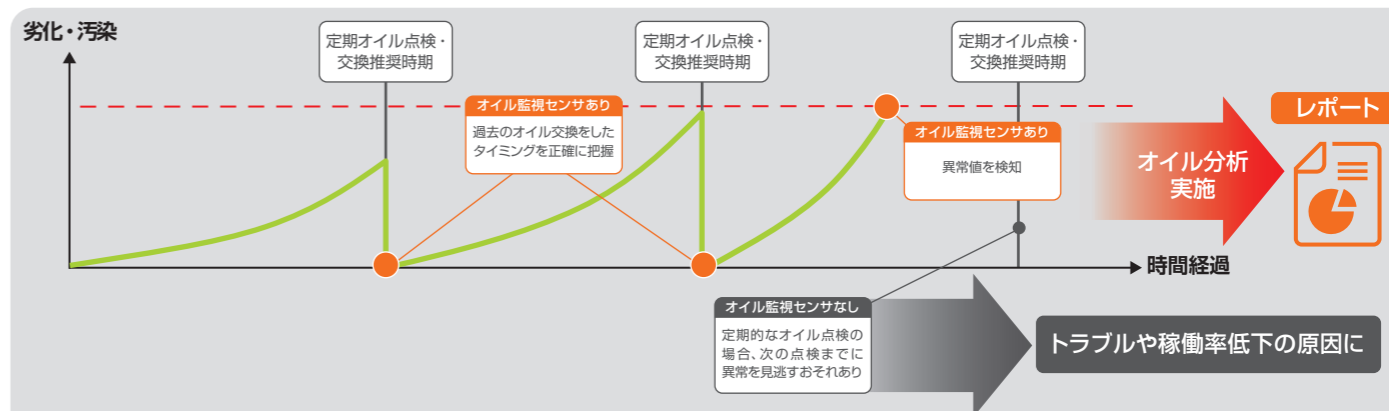
### Point 3

不具合の早期発見・早期修理により、  
メンテナンスコストを低減!

\*1 故障内容により作業工程・日数は変動します。

### 2 常時監視により急なオイルの変化を検知可能

定期的なオイル分析だけでは捉えることができない急なオイルの変化も把握できるようになります。



定期的にはなく24時間\*ずっと  
見守るため、早期に予兆を検知  
\*稼働時のみ

**1** 機械を24時間\*見ている  
安心感をご提供

時系列で見守るためオイルを  
いつ交換したか把握できる

**2** 過去の履歴が蓄積され  
機械の傾向を把握できる

**業界初!** オイルの状態をセンサの値で  
はっきりとらえる  
※日立建機調べ

**3** 客観的な分析データから  
オイル交換時期を提案

### 3 ライフサイクルコストの低減に貢献

- 計画整備による稼働効率アップ
- 監視による異常検知で故障予兆の発見
- オイルの状態を常に監視し適正な状態に保つことによる機械寿命の延長 など